

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等に配付された献血啓発資料の活用等、献血への理解増進に向けた取組をお願いするものです。

事 務 連 絡
令和 8 年 6 月 10 日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健担当課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 部 課
附属学校を置く各国公立大学法人事務局
小中高等学校を設置する学校設置会社を所轄する
構造改革特別区域法第 1 2 条第 1 項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

御中

文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課

学校における献血への理解増進に向けた取組について（依頼）

近年、少子化の影響等により若年層（10 代から 30 代）の献血者数の減少が顕著となっています。将来にわたって安定的に血液を確保するために、献血可能年齢前の児童生徒も含め、若年層を対象とした献血の普及啓発が重要であり、令和 7 年 6 月 13 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2025」に、「小中学生から献血に対する理解を深める」ことが盛り込まれたところです。

この度、厚生労働省より、令和 8 年 6 月 9 日付け事務連絡で学校における献血推進活動について周知等の協力依頼（別添 1 参照）がありましたので、この趣旨を御理解いただき、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等において、令和 7 年 7 月及び 12 月頃に配付された献血啓発資料を活用いただくとともに、都道府県赤十字献血センターが行う出前講座や学校献血等により、献血に触れ合う機会を積極的に受け入れるなど、献血への理解増進に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。特に学校献血については、別添 1 別紙 3 の「学校献血について」を参考にするなど、献血に触れ合う機会を作るといった取組の推進をお願いいたします。

また、文部科学省では、「現代的な健康課題（がん教育等）理解増進事業」において、例えば、日本赤十字社の職員や医師、輸血を受けた患者等を外部講師として活用する際の経費の支援を行うこととしていますので、併せて御活用ください（別添 2）。

このことについて、都道府県・指定都市教育委員会におかれては所管の学校及び域内の市区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の学校法人等を通じてその設置する学校に対して、附属

学校を置く各国公立大学法人事務局におかれてはその設置する附属学校に対して、小中高等学校を設置する学校設置会社を所轄する構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社及び学校に対して、それぞれ周知されるようお願いします。

なお、学校における働き方改革の観点から、周知の範囲及び方法については、全ての学校へ一律に周知する以外にも、例えば、他案件とまとめた周知の実施や教育委員会主催の教員研修の場での配布等、貴課において適切に御判断いただくようお願いします。

(添付資料)

- ・別添1：令和8年6月9日付け厚生労働省医薬局血液対策課事務連絡
「学校における献血推進活動について（依頼）」
 - 【別紙1】活用可能な啓発資材等一覧
 - 【別紙2】ブロック血液センター・都道府県赤十字血液センター一覧
 - 【別紙3】学校献血について
 - 【別紙4】都道府県別学校献血等実績
- ・別添2：現代的な健康課題（がん教育等）理解増進事業

(献血推進活動について)

厚生労働省医薬局血液対策課献血推進係

電話：03-5253-1111（内線 2908）

(本事務連絡について)

文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課保健指導係

電話：03-5253-4111（内線 2918）

事務連絡
令和8年6月9日

文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課 御中

厚生労働省医薬局血液対策課

学校における献血推進活動について（依頼）

献血の普及啓発につきましては、日頃より格段の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

血液製剤は、病気やけがなどの治療のために不可欠なものです。人工的に造ることができず、長期保存もできないため、毎日新しい血液を提供いただく必要があります。毎年延べ約500万人の方々に献血に御協力頂いています。

少子化の影響により献血可能人口が減少している中、将来にわたって安定的に血液を確保するためには、若年層を対象とした献血の普及啓発が重要です。

そのため、厚生労働省及び日本赤十字社は、都道府県と連携し、学校における献血推進活動に取り組んでいます。

厚生労働省では希望調査の結果を踏まえ、中学生向けポスター、中学生向け献血啓発テキスト及び高校生向け献血啓発テキストを令和7年12月頃に各学校へ配布しています。日本赤十字社が小学生向けに作成した献血啓発資材については、令和7年7月頃に各学校へ配布しています。なお、令和8年度においても、啓発資材配布に係る希望調査を実施予定です。

そのほかにも活用可能な啓発資材等（別紙1）があり、都道府県赤十字血液センター（別紙2）では出前講座や学校献血（別紙3）を実施しています。

貴課におかれましては、かかる趣旨を御理解いただき、学校において、啓発資材の配布・活用及び出前講座・学校献血の受入れ等の献血推進活動に積極的に取り組んでいただけるよう、周知等に御協力をよろしくお願いします。

（別紙1）活用可能な啓発資材等一覧

（別紙2）ブロック血液センター・都道府県赤十字血液センター一覧

（別紙3）学校献血について

（別紙4）都道府県別学校献血等実績

【連絡先】

厚生労働省医薬局

血液対策課献血推進係

電話：03-5253-1111（内線2908）

E-mail: kenketsugo@mhlw.go.jp

活用可能な啓発資材等一覧（日本赤十字社及び厚生労働省作成）

（パンフレット）

- ・ 小学生向け献血啓発冊子「みんなで学ぼう 血液のこと」
<https://www.jrc.or.jp/donation/blood/about/introduction/>
- ・ 中学生向け献血啓発テキスト「教えて！けんけつちゃん～中学生に知ってほしい、献血のはなし～」
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_66275.html
- ・ 生徒用テキスト「けんけつ HOP STEP JUMP」（2026 年版）
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_62938.html
- ・ 血液事業紹介パンフレット「愛のかたち献血」（一般の方用）（小学生・中学生用）
<https://www.jrc.or.jp/donation/blood/about/introduction/>

（ポスター）

- ・ 中学生向けポスター
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_66274.html
- ・ 大学生等向けポスター
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_66851.html

（動画）

◎厚生労働省 YouTube チャンネル

- <https://www.youtube.com/@MHLWchannel>
- ・ 「けんけつちゃんからの SOS」けんけつって？けつえきって？動画で分かりやすく見ようっち！
<https://www.youtube.com/watch?v=mclh1RQTVXE>
- ・ 身近にあるボランティア「献血」のご紹介
<https://www.youtube.com/watch?v=f0Lq73cXrVY>
- ・ 献血啓発アニメ「誕生!!KKT21」（本編フルバージョン）
<https://www.youtube.com/watch?v=aIKbkLV42oQ>
- ・ 中高生向けの献血啓発動画「僕たちは巡っていく」（フルバージョン）
<https://www.youtube.com/watch?v=-S6j0ORDSEI>

◎日本赤十字社 献血推進プロモーションチャンネル（YouTube）

- <https://youtube.com/channel/UC6r9p4U0-Dho4Rc00MIYn1A?si=IxaRE-D5duSg9vLP>
- ・ 「インフォグラフィックス動画 What's KENKETSU」 full バージョン
<https://youtu.be/B8vfSsALK9w>
- ・ 「インフォグラフィックス動画 What's KENKETSU」 short バージョン
https://youtu.be/aI-2u3F_OYo

- ・「ありがとうの手紙 From 献血で救われたいのち」 full バージョン
<https://youtu.be/TGojWkhjoLA>
- ・「ありがとうの手紙 From 献血で救われたいのち」 short バージョン
<https://youtu.be/WV8QViqxY9o>
- ・船原知香さんの輸血実体験を基にしたアニメーション
<https://www.youtube.com/watch?v=j72GIMGtNYo>
- ・小学生向け動画「みんなで学ぼう 血液のこと」
https://www.youtube.com/watch?v=_PA-Qwb2Rdw

(その他)

- ・けんけつ体操の歌・絵描き歌
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iyakuhin/kenketsugo/index_00008.html
- ・献血のあたらしいカタチ ラブラッド※
<https://www.youtube.com/watch?v=2HnDfX6kcUw>
- ・ラブラッド※の登録方法
<https://www.youtube.com/watch?v=b05718V1PXI>

※ラブラッドとは

日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web 会員サービスです。

より安全な血液を安定的に患者さんに届けるためには、継続して献血に御協力いただくことが重要であり、日本赤十字社では複数回献血を推進するため、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」を運営しています。御登録いただくと、献血の予約、事前の問診回答などが Web サイト・アプリどちらからでも可能になります。

ブロック血液センター・都道府県赤十字血液センター 一覧

令和8年4月1日時点

No.	センター名	郵便番号	住所	電話番号(代表)	問合せ窓口
北海道	北海道赤十字血液センター	063-0802	札幌市西区二十四軒2条1-1-20	011-613-6121	
	北海道ブロック血液センター	063-0802	札幌市西区二十四軒2条1-1-20	011-613-6121	
東北	青森県赤十字血液センター	030-0966	青森市花園2-19-11	017-741-1511	
	岩手県赤十字血液センター	020-0831	盛岡市三本柳6-1-6	019-637-7200	
	宮城県赤十字血液センター	981-3206	仙台市泉区明通2-6-1	022-290-2501	
	秋田県赤十字血液センター	010-0941	秋田市川尻町字大川反233-186	018-865-5541	
	山形県赤十字血液センター	990-0075	山形県山形市落合町95番地1	023-622-5301	
	福島県赤十字血液センター	960-1198	福島市永井川字北原田17	024-544-2550	
	東北ブロック血液センター	981-3206	仙台市泉区明通2-6-1	022-354-7070	
関東甲信越	茨城県赤十字血液センター	311-3117	東茨城郡茨城町桜の郷3114-8	029-246-5566	
	栃木県赤十字血液センター	321-0192	宇都宮市今宮4-6-33	028-659-0111	
	群馬県赤十字血液センター	379-2181	前橋市天川大島町2-31-13	027-224-2118	
	埼玉県赤十字血液センター	337-0003	さいたま市見沼区深作955-1	048-684-1511	
	千葉県赤十字血液センター	274-0053	船橋市豊富町690	047-457-0711	
	東京都赤十字血液センター	162-8639	新宿区若松町12-2	03-5272-3511	
	神奈川県赤十字血液センター	222-0032	横浜市港北区大豆戸町680-7	045-834-4611	
	新潟県赤十字血液センター	950-0954	新潟市中央区美咲町1-6-15	025-384-0920	
	山梨県赤十字血液センター	400-0062	甲府市池田1-6-1	055-251-5891	
	長野県赤十字血液センター	381-2214	長野市稲里町田牧1288-1	026-214-8070	
	関東甲信越ブロック血液センター	135-8639	江東区辰巳2-1-67	03-5534-7666	
東海北陸	富山県赤十字血液センター	930-0821	富山市飯野26-1	076-451-5555	
	石川県赤十字血液センター	920-0345	金沢市藤江北4-445	076-254-6300	
	福井県赤十字血液センター	918-8011	福井市月見3-3-23	0776-36-0221	
	岐阜県赤十字血液センター	500-8269	岐阜市茜部中島2-10	058-272-6911	
	静岡県赤十字血液センター	420-0804	静岡市葵区竜南1-26-19	054-247-7141	
	愛知県赤十字血液センター	489-8555	瀬戸市南山口町539-3	0561-84-1131	
	三重県赤十字血液センター	514-0131	津市あいつ台4丁目8-5	059-273-6701	
	東海北陸ブロック血液センター	489-8585	瀬戸市南山口町539-3	0561-89-7800	
近畿	滋賀県赤十字血液センター	525-8505	草津市笠山7-1-45	077-564-6311	
	京都府赤十字血液センター	612-8451	京都市伏見区中島北ノ口町26	075-603-8800	
	大阪府赤十字血液センター	536-8505	大阪市城東区森之宮2-4-43	06-6962-7001	
	兵庫県赤十字血液センター	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5	078-222-5011	
	奈良県赤十字血液センター	639-1123	大和郡山市筒井町600-1	0743-56-5916	
	和歌山県赤十字血液センター	649-6322	和歌山市和佐関戸118-5	073-499-7724	
	近畿ブロック血液センター	567-0085	茨木市彩都あさぎ7-5-17	072-643-100	
中四国	鳥取県赤十字血液センター	680-0901	鳥取市江津370-1	0857-24-8101	
	島根県赤十字血液センター	690-0882	松江市大輪町420-21	0852-23-9467	
	岡山県赤十字血液センター	700-0012	岡山市北区いずみ町3-36	086-255-1211	
	広島県赤十字血液センター	730-0052	広島市中区千田町2-5-5	082-241-1246	
	山口県赤十字血液センター	753-8534	山口市野田字野田172-5	083-922-6866	
	徳島県赤十字血液センター	770-0044	徳島市庄町3-12-1	088-631-3200	
	香川県赤十字血液センター	761-8031	高松市郷東町字新開587-1	087-881-1500	
	愛媛県赤十字血液センター	791-8036	松山市高岡町80-1	089-973-0700	
	高知県赤十字血液センター	783-0043	南国市岡豊町小蓮448番地	088-866-6660	
	中四国ブロック血液センター	730-0052	広島市中区千田町2-5-5	082-241-1311	
九州	福岡県赤十字血液センター	818-8588	筑紫野市上古賀1-2-1	092-921-1400	
	佐賀県赤十字血液センター	849-0925	佐賀市八丁畷町10-20	0952-32-1011	
	長崎県赤十字血液センター	852-8145	長崎市昭和3-256-11	095-843-3331	
	熊本県赤十字血液センター	861-8039	熊本市東区長嶺南2-1-1	096-384-6000	
	大分県赤十字血液センター	870-0889	大分市大字荏隈717-5	097-547-1151	
	宮崎県赤十字血液センター	880-8518	宮崎市大字恒久885-1	0985-50-1800	
	鹿児島県赤十字血液センター	890-0064	鹿児島市鴨池新町1-5	099-257-3141	
	沖縄県赤十字血液センター	902-0076	那覇市与儀1-4-1	098-833-4747	
	九州ブロック血液センター	839-0801	久留米市宮ノ陣3-4-12	0942-31-8900	

献血推進担当部門

学校献血について

【別紙3】

厚生労働省医薬局血液対策課作成

学校における献血推進活動が重要です

少子化の影響により献血可能人口が減少している中、将来にわたって安定的に血液を確保するためには、若年層に対する献血推進活動が、これまで以上に重要となっています。

生徒が献血に触れる機会作りにご協力ください

「高等学校学習指導要領解説／保健体育編」には、「献血の制度があることについても適宜触れる」と記載されています。

そのため、学校現場において、広報資材の配布や、出前講座、学校献血等献血に触れ合う機会の受入れについて積極的に取り組んでいただけるよう、ご協力をお願いします。

《実施例》宮城県

教育庁から県立高校に対して、年1回は①献血バスによる献血、②献血バス見学会、③献血セミナーのいずれかを実施するよう依頼文書を送付していただいております。

学校献血・献血セミナー

日本赤十字社では、献血のきっかけづくりや、将来にわたって献血にご協力いただくための取組として、高等学校等に出向いての学校献血・献血セミナーを実施しております。

《実施例》おかやま山陽高等学校「卒業記念献血」

高校3年生を対象とした卒業記念献血を実施しています。

多くの協力者が集まるよう、実施前に赤十字血液センターの職員が献血セミナーを開催しています。



ボランティア証明書

日本赤十字社では、献血の呼びかけ等にご協力いただいた際に、「ボランティア証明書」を発行することができます。

製造所見学

血液事業と献血について広く一般に知っていただくために、製造所の見学を受け付けております。

製造所では、献血していただいた血液が輸血用血液製剤になるまでの工程を見学することができます。

※一部の製造所では、見学の受け入れを休止しておりますので、詳細は各ブロック血液センターにご確認ください。

お問い合わせ

学校献血・献血セミナー、ボランティア証明書⇒最寄りの都道府県赤十字血液センター

製造所見学⇒最寄りのブロックセンター

※連絡先は、【別紙2】ブロック血液センター・都道府県赤十字血液センター 一覧をご参照ください。



学校献血実施の流れ

① 相談

学校献血の実施については、最寄りの赤十字血液センターにご相談ください。（別紙2参照）

▶日程や実施方法について、担当者がご説明します。

血液センターへの連絡はお電話にて「学校献血を検討」している旨をお伝えください。

※一部センターはホームページに問い合わせフォームもあります。



② 事前調整

▶血液センター担当者と、以下の点について調整します。

- ・実施希望時期
- ・実施場所（献血バス・出張採血等）
- ・対象学年や人数の目安

※詳細な調整や準備は、血液センターが中心となって行います。

授業の時間を使用してクラス毎にご案内や、授業が午前みの日の午後、文化祭などのイベントへの配車など様々なパターンで実施しております。



③ 実施準備

▶学校側では、以下についてご協力をお願いします。

- ・実施日の校内周知
- ・生徒への案内配布（様式やデータは血液センターが用意します）

献血バスの配車の他、視聴覚室などの部屋に簡易ベッドを持ち込んで献血会場を設置なども可能です。



④ 実施当日

▶当日の運営や献血の実施は、血液センター職員が対応します。

校内の事前周知、ポスター制作、当日の呼び掛けなどを生徒会やボランティア部など、生徒と一緒に取り組むことも可能です。



⑤ 実施後

- ▶血液センター職員から実績のご報告
- ▶希望する生徒に対し、日本赤十字社がボランティア証明書（献血証明書）を発行します。

各学校に合わせて実施方法を検討いたしますので、まずは、お気軽に最寄りの赤十字血液センターにお問い合わせください。

【都道府県別学校献血等実績】

●令和6年度

都道府県別学校献血実施状況（高等学校）

都道府県	管内設置校数	献血実施校数	献血者数			実施率
			200mL	400mL	計	
北海道	278	34	924	1,021	1,945	12.2%
青森	63	30	501	506	1,007	47.6%
岩手	78	14	12	233	245	17.9%
宮城	99	23	460	421	881	23.2%
秋田	50	7	152	61	213	14.0%
山形	60	36	39	928	967	60.0%
福島	97	22	594	210	804	22.7%
茨城	134	49	1,679	862	2,541	36.6%
栃木	77	67	3,212	2,705	5,917	87.0%
群馬	79	46	1,781	1,025	2,806	58.2%
埼玉	203	63	1,396	1,066	2,462	31.0%
千葉	193	19	837	658	1,495	9.8%
東京	441	13	270	394	664	2.9%
神奈川	236	6	196	351	547	2.5%
新潟	110	2	17	74	91	1.8%
山梨	40	35	1,661	681	2,342	87.5%
長野	110	9	307	62	369	8.2%
富山	49	8	356	125	481	16.3%
石川	57	9	419	100	519	15.8%
福井	33	13	194	298	492	39.4%
岐阜	87	24	642	341	983	27.6%
静岡	138	74	1,638	1,450	3,088	53.6%
愛知	225	18	362	702	1,064	8.0%
三重	78	14	0	464	464	17.9%
滋賀	59	17	304	359	663	28.8%
京都	107	3	11	140	151	2.8%
大阪	262	23	473	520	993	8.8%
兵庫	211	12	78	312	390	5.7%
奈良	54	6	118	98	216	11.1%
和歌山	47	19	401	572	973	40.4%
鳥取	32	6	0	123	123	18.8%
島根	47	6	0	125	125	12.8%
岡山	92	3	0	123	123	3.3%
広島	132	11	79	784	863	8.3%
山口	78	13	50	371	421	16.7%
徳島	37	7	0	185	185	18.9%
香川	43	10	0	493	493	23.3%
愛媛	73	15	0	607	607	20.5%
高知	43	0	0	0	0	0.0%
福岡	168	85	0	4,470	4,470	50.6%
佐賀	44	7	10	203	213	15.9%
長崎	80	8	8	380	388	10.0%
熊本	77	35	0	1,548	1,548	45.5%
大分	55	12	34	289	323	21.8%
宮崎	52	5	1	135	136	9.6%
鹿児島	90	13	27	278	305	14.4%
沖縄	70	48	27	1,518	1,545	68.6%
合計	4,968	999	19,270	28,371	47,641	20.1%

【別紙4】

●令和6年度

献血セミナーの都道府県別実施状況（学校や公共施設等に出向いて実施したもの）

都道府県	献血セミナー実施回数	参加人数						
		小学校	中学校	高校	専門学校	大学	その他	計
北海道	48	579	455	1,835	169	9	773	3,820
青森	21	70	152	264	25	246	230	987
岩手	26	27	—	1,049	—	—	587	1,663
宮城	11	—	—	660	100	—	115	875
秋田	9	60	—	75	—	—	317	452
山形	78	—	—	10,766	59	1,404	425	12,654
福島	24	—	—	1,698	30	33	263	2,024
茨城	97	—	—	3,677	725	1,006	231	5,639
栃木	15	60	250	405	—	—	39	754
群馬	15	—	—	1,284	—	10	283	1,577
埼玉	32	—	—	—	—	—	866	866
千葉	15	348	155	4,831	150	—	—	5,484
東京	45	—	671	1,579	635	780	318	3,983
神奈川	175	—	—	997	—	—	200	1,197
新潟	29	—	25	1,832	318	4	—	2,179
山梨	28	66	—	550	—	—	130	746
長野	14	—	180	2,163	—	87	274	2,704
富山	7	72	34	839	—	—	199	1,144
石川	41	—	68	3,261	112	—	304	3,745
福井	13	697	—	1,442	30	100	600	2,869
岐阜	44	236	126	5,247	150	259	25	6,043
静岡	55	40	9	5,484	115	29	175	5,852
愛知	49	46	72	1,770	302	486	392	3,068
三重	61	—	—	12,372	168	—	47	12,587
滋賀	47	—	—	4,099	128	53	344	4,624
京都	31	268	66	1,104	239	339	303	2,319
大阪	110	50	104	9,445	90	323	1,014	11,026
兵庫	86	307	1,261	5,877	100	476	230	8,251
奈良	23	115	250	4,708	—	218	74	5,365
和歌山	17	24	—	1,223	186	100	125	1,658
鳥取	26	85	—	1,439	42	100	32	1,698
島根	27	—	—	617	—	—	569	1,186
岡山	53	—	—	1,823	75	605	1,600	4,103
広島	68	—	12	1,680	388	875	1,442	4,397
山口	26	—	11	2,823	—	10	—	2,844
徳島	35	270	5	2,346	75	194	193	3,083
香川	39	195	7	2,345	282	54	404	3,287
愛媛	74	1,137	6,493	3,655	2,225	243	312	14,065
高知	24	353	—	198	114	141	286	1,092
福岡	65	150	—	15,464	270	—	—	15,884
佐賀	17	—	—	2,774	39	—	120	2,933
長崎	25	—	—	249	50	2,118	73	2,490
熊本	44	—	500	4,175	125	320	624	5,744
大分	32	—	57	2,049	—	88	281	2,475
宮崎	11	—	—	530	303	130	73	1,036
鹿児島	38	104	643	4,310	—	20	260	5,337
沖縄	72	416	1,219	10,342	764	111	—	12,852
合計	1,942	5,775	12,825	147,355	8,583	10,971	15,152	200,661

現代的な健康課題（がん教育等）理解増進事業

 令和8年度予算額
（前年度予算額）

 48百万円
48百万円

背景

- 生活習慣病や歯と口の健康、感染症、メンタルヘルスに関する問題、アレルギー疾患、近視等、児童生徒の健康課題は複雑化・多様化。自らの健康を適切に管理し改善していく力の育成が、これまで以上に求められる。
- 第4期がん対策推進基本計画（令和5年度～令和10年度）
「国は、・・・学校医やがん治療に携わる医師、がん患者・経験者等の外部講師を活用しながら、がん教育が実施されるよう、必要な支援を行う。」
- 病気を抱える人々への共感的な理解を深めるとともに、共に生きる社会づくりに向け、献血への理解など社会に貢献する意欲や態度を養うことが求められる。

事業内容

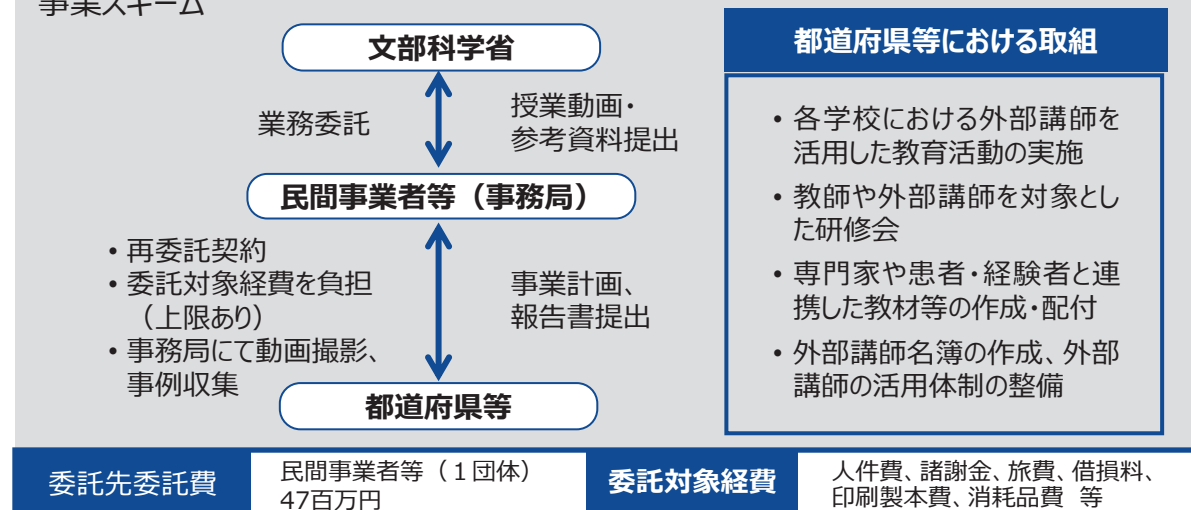
（事業実施期間 平成26年度～）

- がん教育の成果等の全国への普及のため、がん教育シンポジウム等の開催
- がんや生活習慣病、歯と口の健康、心の健康等に関する学習を通じて、自身の生活行動を改善する力を育み、また、がんや難病、てんかん、摂食障害、ギャンブル等依存症等を抱える人々への共感的な理解を深め、さらに、献血への理解等社会に貢献する意欲や態度を養うため、地域の実情に応じた外部講師を活用した教育活動を支援
- 各学校における指導の充実を図るため、外部講師を活用した授業動画等を作成

課題

- がん教育の全国への普及
- 地域によって取組状況に差があり、好事例の全国への普及が必要
- 現代的な健康課題の理解増進に向けた外部講師の活用促進
- がん教育をはじめ、現代的な健康課題について、児童生徒が実感的に理解し、自身の行動の変容につなげられるような指導が必要であるが、外部講師の活用のための各地域の体制整備が不十分
- 多種多様な健康課題を抱える児童生徒への支援の促進
- 複雑化・多様化する健康課題の、より効果的な対応策の検討に一定の時間を要しており、児童生徒への支援が困難な状況

事業スキーム



アウトプット（活動目標）

各自治体において、地域の実情に応じたがん教育の取組の充実を図る。

短期アウトカム（成果目標）

学校において、がん教育の取組の充実のため、外部講師の活用が促進される。

長期アウトカム（成果目標）

がん教育を通じて、児童生徒が、生涯にわたり健康を保持増進するための意識を醸成する。